

▷ 身の回りで急な爆発が起ったら

- ▶ 姿勢を低くして身の安全を守り、周囲で物が落下している場合は、落下が止まるまで頑丈なテーブルなどの下に身を隠しましょう。
- ▶ その後、爆発が起こった建物などから速やかに離れましょう。
- ▶ 警察や消防の指示に従って落ち着いて行動しましょう。



【火災が発生した場合】

- ▶ できる限り低い姿勢をとり、急いで建物から出ましょう。
- ▶ 口と鼻をハンカチなどで覆いましょう。

【がれきに閉じ込められた場合】

- ▶ 明るくするためにライターなどで火をつけないようにしましょう。
- ▶ 動き回って粉じんをかき立てないようにしましょう。口と鼻をハンカチなどで覆いましょう。
- ▶ 自分の居場所を周りに知らせるために、配管などを叩きましょう。粉じんなどを吸い込む可能性があるため、大声を上げるのは最後の手段としましょう。



日頃からの備え

自然災害に備える非常持ち出し品や備蓄品は、武力攻撃やテロなどが発生した場合にも役立ちます。日頃から家族全員分を備えましょう。

非常持ち出し品

携帯用飲料水

食品
(カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど)

貴重品(預金通帳、印鑑、現金など)
パスポートや運転免許証

緊急用品

ヘルメット、防災ずきん

軍手(厚手の手袋) 懐中電灯

衣料(セーター、ジャンパー類) 下着

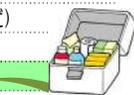
毛布 携帯ラジオ・予備電池

マッチ、ろうそく
(水にぬれないようビニールでくるむ)

使い捨てカイロ ウェットティッシュ

筆記用具(ノート、鉛筆)

小さな子供がいる家庭は・・・
ミルク、紙おむつ、ほ乳びん



備蓄品(3日分が目安)

飲料水 9リットル(3リットル×3日分)

ご飯(アルファ米※) 4~5食分

ビスケット 1~2箱 板チョコ 2~3枚

缶詰 2~3 下着 2~3組

衣類 スウェット上下、セーター、フリースなど

※アルファ米…一度炊いた米を乾燥させたもので、お湯や水を注ぐだけで食べられ、非常食としても活用できる。

三角きん・包帯(4号・6号が便利)

消毒ガゼ・きれいなタオル 体温計

ばんそうこう(大・小) はさみ・ピンセット

傷口用の消毒薬 安全ピン

常備薬(風邪薬、胃腸薬、痛み止めなど)

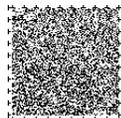
新聞紙や大きなゴミ袋は、防寒や防水に役立つので、備えておくとういでしょう。

みなさんへのご協力をお願い

国民の保護のための措置にあたり、みなさんにご協力をお願いすることがあります。

- ▶ 住民の避難や救援への協力
- ▶ 消火活動、負傷者の搬送、被災者の救助などへの協力
- ▶ 保健衛生の確保への協力
- ▶ 避難に関する訓練への参加

協力は自発的な意思に委ねられるものであり、みなさんの安全の確保には十分配慮します。



愛知県防災局防災危機管理課 危機管理・国民保護グループ

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 2015年11月
TEL: 052-954-6143 FAX: 052-954-6911 E-mail: bosai@pref.aichi.lg.jp
HP: <http://www.pref.aichi.jp/bousai/kokuminhogo/top/kokuminhogo-top.htm>

武力攻撃やテロなどから大切なものを守るために — 愛知県の国民保護 —

国民保護とは

国民保護とは、武力攻撃や大規模テロなどから、国、県、市町村や関係機関が連携して住民の生命、身体、財産を守るためのしくみです。

自分や大切な家族を守るため、国民保護のしくみを理解し、いざというときにどのように行動すればよいのかを知っておくことが必要です。

想定される事態

武力攻撃事態



着上陸侵攻



ゲリラ・特殊部隊による攻撃



弾道ミサイル攻撃



航空攻撃

緊急処理事態

危険性を内在する物質を有する施設等に対する攻撃



例) 原子力発電施設やダム、石油コンビナート施設の爆破

多数の人が集合する施設、大量輸送機関等に対する攻撃



例) 大規模集客施設、ターミナル駅、列車の爆破

多数の人を殺傷する特性を有する物質等による攻撃



例) 放射性物質を混入させた爆弾等の爆発、生物剤や化学剤の大量散布

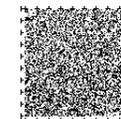
破壊の手段として交通機関を用いた攻撃



例) 航空機による自爆テロ



この音声コード(SPコード)を活字文書読み上げ装置で読み込むと、そのページの情報を読み上げます。

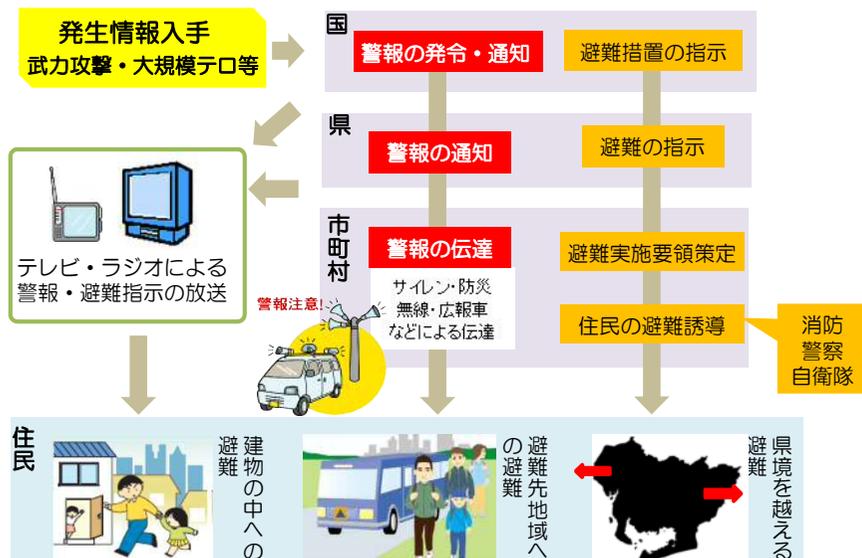


住民のみなさんを守るための措置

国民の保護のための措置は、「住民の避難」「避難住民の救援」「武力攻撃災害への対処」の3つの柱からなります。

①住民の避難

国からの警報、避難措置の指示を受け、県は市町村や関係機関に警報の通知や避難の指示を行います。市町村は、防災行政無線などによりこれらを伝達し、避難誘導を行います。



サイレン音は内閣官房の国民保護ポータルサイトで聞くことができます。
<http://www.kokuminhogo.go.jp/>

②避難住民の救援

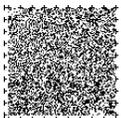
避難所の開設、食品・飲料水・生活必需品の提供、医療の提供など

住民の避難が行われた場合は、県、市町村、日本赤十字社などが協力して救援活動を実施します。



安否情報の収集・提供

家族と離れてしまった避難住民や被災者の安否情報を収集し、みなさんの照会に対して個人情報に配慮しながら提供します。



子どもが心配で...



【特殊標章】このマークは、国民保護の措置を行う人や車両などを識別するための国際的な標章です。

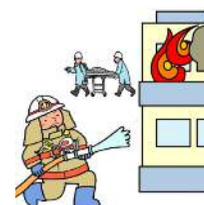
③武力攻撃災害への対処

武力攻撃やテロによる被害をできるだけ小さくするため、国、県、市町村、関係機関が協力して必要な活動を実施します。

●住民が危険な場所に立ち入らないよう、警戒区域を設定



●消火、救急、救助などの活動



●原子力事業所、ダム、鉄道などの生活関連施設の安全の確保、警備の強化、立入制限

●危険物、毒物、劇物、高圧ガスなどの取扱所での製造等の禁止・制限

そのときどうする？

▷ 警報が発令されたら

市町村の防災行政無線や広報車、テレビやラジオなどで情報収集に努めましょう。

【屋内にいる場合】

- ▶ ドアや窓を全部閉め、ガス、水道、換気扇を止めましょう。
- ▶ ドア、壁、窓ガラスから離れましょう。



【屋外にいる場合】

- ▶ 近くのビルや地下街など、屋内に避難しましょう。
- ▶ 自家用車などを運転している場合は、できるだけ道路外に止めましょう。やむを得ず道路に置いて避難する時は、キーを付けたまま道路の左端に駐車するなど、緊急通行車両の通行の妨げとならないようにしましょう。



▷ 避難の指示が出されたら

- ▶ 状況に応じた指示（避難先、避難経路など）に従い、落ち着いて行動しましょう。
- ▶ ガスの元栓を閉め、コンセントを抜きましょう。冷蔵庫のコンセントは挿したままにしておきましょう。
- ▶ 頑丈な靴、長ズボン、長袖シャツ、帽子などを着用し、非常持ち出し品を持参しましょう。
- ▶ パスポート、運転免許証など、身分を証明できるものを携帯しましょう。
- ▶ 家の戸締りをし、近所の人に声をかけて避難しましょう。



▷ NBCテロが起こったら

- ▶ 武力攻撃やテロの手段として核物質（Nuclear）、生物剤（Biological）、化学剤（Chemical）が用いられた場合は、人体の機能障害を発生させるおそれがあるので、物質の特徴や留意点を考慮した特別な対応が必要です。
- ▶ テレビやラジオなどを通じて情報収集に努め、行政機関の指示にしたがって行動しましょう。

